

スマートフォン向けソリューション事業において連携を開始 ～Web API・決済サービス・クラウドサービスから連携開始、 今後は広告も含めた総合的な連携を予定～

2012年2月23日

株式会社エムティーアイ
ヤフー株式会社

スマートフォン向けソリューション事業において連携を開始 ～Web API・決済サービス・クラウドサービスから連携開始、 今後は広告も含めた総合的な連携を予定～

株式会社エムティーアイ（以下、エムティーアイ）とヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は本日より、スマートフォン向けソリューション事業において連携を開始しました。本連携によりエムティーアイはスマートフォン向けソリューションサービスの充実を、Yahoo! JAPANはオープン化戦略のスマートフォン分野での拡大・推進を図ります。

■具体的な連携内容

・Yahoo! JAPAN Web APIとの連携

エムティーアイが提供するモバイルサイトのスマートフォン最適化ソリューション「モバイルコンバートforスマートフォン」（以下、MCSP）と、Yahoo! JAPANが提供するWeb APIである「Yahoo! Open Local Platform」（以下、YOLP）を連携させます。MCSPがサポートするクライアント様のスマートフォンサイトに、地域関連情報を簡単に追加できるようにYOLPのAPIを機能拡張させ、位置情報と親和性の高いデバイスであるスマートフォンでの利便性向上を目指します。

・決済サービスでの連携

エムティーアイが提供する認証決済プラットフォーム「mopita」において、「Yahoo! JAPAN ID」「Yahoo!ウォレット」との連携を行います。この連携によってすでに「Yahoo!ウォレット」に登録済みの約2500万人のお客はスムーズな認証・決済ができます。また本連携によりお客様の決済サービスの選択肢を広げ、「mopita」の利用促進を目指します。

・クラウドサービスでの連携

エムティーアイはMCSPにおいてYahoo! JAPANとのさまざまな業務提携を進めるにあたり、Yahoo! JAPANのグループ企業でデータセンター事業を展開している株式会社IDCFロンティアのクラウドサービスを利用します。安定したインフラ環境のもとでさまざまなクライアント様のニーズを満たす幅広いソリューションの提供を目指します。

今後も両社では、MCSPの機能拡張を目指しYahoo! JAPAN Web APIと広く連携させるとともに、スマートフォン向けソリューション事業において広告などのさらなるプラットフォームでの連携を進めるなど総合的な取り組みを検討し、互いの強みを生かしながらサービスの向上を目指し協業していきます。

■エムティーアイ スマートフォンへの取り組みについて

エムティーアイは、自社コンテンツの開発・提供だけではなく、長年にわたり携帯サイトを数多く運営してきたノウハウを生かし、各企業のスマートフォン市場への参入をサポートする2つのソリューションを提供・販売しています。

1.既存資産の携帯サイトをスマートフォン専用サイトへ自動変換する「MCSP」

2.スマートフォン向け会員認証・決済プラットフォーム「mopita」

「MCSP」は、スマートフォン市場に参入する企業の開発リソースやリスクを限りなく低減させるだけではなく、さまざまなマーケティングツール（レコメンドエンジンなど）の導入を簡単にできるASPです。ワンストップ・サービス・ソリューションで各企業のモバイル・マーケティングを支援します。またスマートフォン向け会員認証・決済プラットフォーム「mopita」は、決済手段としてさまざまなクレジットカードをはじめ、電子マネーやポイントシステムなどと連携を行っており、会員の決済手段の利便性を高めることで、スマートフォンサービスの利用拡大を図っています。

この度のYahoo! JAPANとの連携については、上記2つのソリューションにおける戦略の大きな柱と捉えています。今後もこのソリューションの価値向上を図るとともに、スマートフォン市場拡大の一翼を担いたいと考えています。

■Yahoo! JAPAN オープン化戦略の拡大・推進について

Yahoo! JAPANは2005年より「Yahoo!デベロッパネットワーク」（以下、YDN）において、インターネット関連の開発者向けにYahoo! JAPANのさまざまなプラットフォームの技術仕様を無料で公開し、外部開発者の方々によるYahoo! JAPANのデータベースを活用したサービスやソフトウェアの開発を促進してきました。現在、YDNではウェブ検索、画像検索、動画検索、地図、震災関連情報、オークション、テキスト解析などのAPIを公開しており、現在も順次Yahoo! JAPANのさまざまなAPIを公開しています。

また、一方で2007年より提供開始の「Yahoo!ウォレット」（オンライン決済代行サービス）の外部企業への提供を皮切りに、広告やID認証、メールサービスなどさまざまな分野でオープン化戦略を推進してきました。さらに今回のエムティーアイとの連携により、Yahoo! JAPANはアプリケーションやソリューションなどを提供する開発会社様に多くのプラットフォームを提供することで各社との連携を進め、開発コストの低減やソリューションの拡充、新規のお客様の獲得など総合的に開発会社様のビジネスを支援し、さらなるオープン化戦略の拡大・推進に努めます。

【エムティーアイ】 <http://www.mti.co.jp/>

株式会社エムティーアイ（市場名：JASDAQ、銘柄コード：9438、本社：東京都新宿区、設立年月日：1996年8月12日、代表取締役：前多俊宏）は、100を超えるモバイルコンテンツを運営し、そのノウハウを生かしたスマートフォン専用サイト自動変換サービス「モバイルコンバート for スマートフォン」やスマートフォン向け会員認証・決済プラットフォーム「mopita」のソリューション開発も行う、モバイルに特化したサービスを提供する企業です。

【Yahoo! JAPAN】 <http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部/JASDAQ、銘柄コード：4689、本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役：井上雅博）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約5201万人のユニークカスタマー数※と、1日23億6500万ページビューのインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティー、コマース、モバイル、スマートフォンなど多くのサービスを提供しています。

※Nielsen Online「NetView」、2011年12月、家庭もしくは職場からのアクセスによる。